

注意：バルーン最大容量以上注入しないこと。(ガイディングカテーテルへの挿入・抜去が困難となるため)カテーテル全体を濡らした状態でガイディングカテーテルに挿入すること。目的血管径を確認し、血管径に合わせた注入容量を慎重に注入してバルーンを拡張させること。

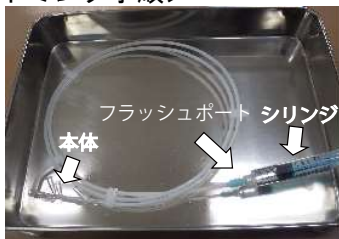
PinnacleBlue20 <バルーンコンプライアンス・フローレート>

注入容量	0.05mL	0.10mL	0.15mL	0.20mL	有効長 [cm]	Flow Rate[mL/sec.]			Deadspace volume[mL]
						造影剤名称	600psi	750psi	
バルーン 直径[mm]	3.4	4.6	5.4	6.1	110	イオパミロン 300	1.8	2.2	0.28
					135		1.3	1.7	

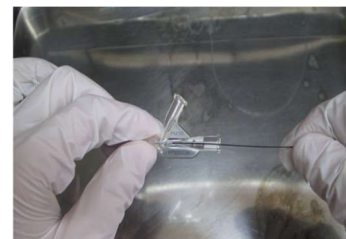
<バルーン拡張液>  
造影剤(ヨード含有 300mg/mL)：生理食塩水(1：1)の比率の混合溶液

<試験条件>  
装置：メドラッドマークVプロビス(メドラッド社)  
造影剤温度：37℃ リニアライズ：0.3sec. 注入量：10mL

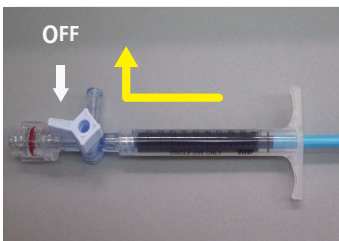
<プライミング手順>



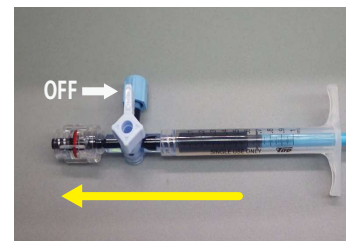
①ヘパリン加生理食塩液を満した10mLシリンジをフラッシュポートに取り付け、ホルダー内をフラッシュする。10秒以上経過後、ゆっくりと本品を取り出す。



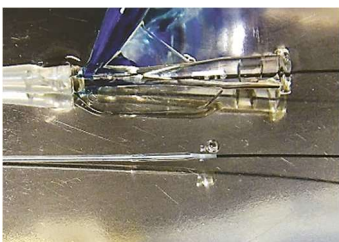
②ガイドワイヤーポートをヘパリン加生理食塩液でフラッシュした後、0.018inch以下のガイドワイヤーを挿入する。



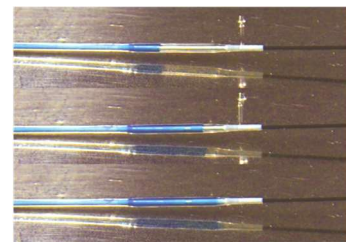
③1mLシリンジに拡張液を1mL満し、キャップを外した三方活栓に取り付ける。シリンジの内筒を押し、矢印の方向に拡張液を注入し、三方活栓を満たす。



④三方活栓のキャップを締め、三方活栓のcockを開き、矢印の方向に三方活栓を拡張液で満し、バルーンポートに取り付ける。

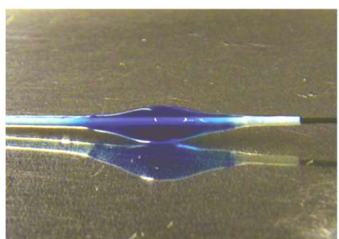


⑤バルーン先端を上向きにして、生理食塩液中に沈め、バルーンが拡張しないように拡張液0.3mLを30秒かけて注入する。



⑥バルーン先端(パージ孔)から気泡が出てくることを確認しながら、バルーン先端まで拡張液で満たす。

注意：プライミング時バルーン先端を下に向けると、バルーン内に空気が残る。



⑦バルーン拡張液0.05~0.10mLにて、バルーン拡張させて、リーク等の異常がないことを確認する。



⑧バルーンを生理食塩液中に沈め、シリンジの内筒を引いて、バルーンを完全収縮させ、シリンジの内筒をはなす。三方活栓を閉じ、シリンジ内の拡張液をバルーン最大容量の0.2mLに調整する。

注意：バルーン表面を濡らした状態で拡張しないと、バルーンは偏拡張しやすくなる。

注意：完全収縮に90秒以上かかる製品を使用しないこと。

## PinnacleBlue27 <バルーンコンプライアンス・フローレート>

注入容量	0.05mL	0.10mL	0.15mL	0.20mL	0.25mL	0.30mL	0.35mL	0.40mL	0.45mL	0.50mL
バルーン直径[mm]	4.4	5.8	6.6	7.4	7.8	8.1	8.5	9.1	9.5	9.9

<バルーン拡張液>

造影剤(ヨード含有 300mg/mL) : 生理食塩水 (1 : 1)の比率の混合溶液

有効長 [cm]	Flow Rate[mL/sec.]		Deadspace volume[mL]	
	造影剤名称	600psi		750psi
125	イオパミロン 300	3.7	4.2	0.59
135		3.1	3.7	0.64

<試験条件>

装置 : メドラッドマーク V プロピス (メドラッド社)

造影剤温度 : 37°C リニアライズ : 0.3 sec.

設定注入量 : 10mL

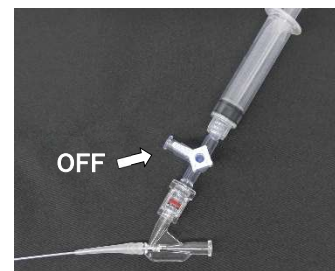
### <プライミング手順>



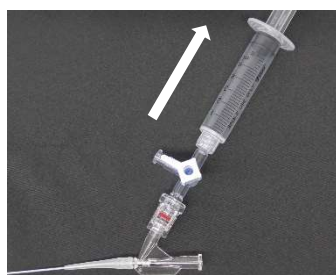
①ヘパリン加生理食塩液を満たした 10mL シリンジをフラッシュポートに取り付け、ホルダー内をフラッシュする。10 秒以上経過後、ゆっくりと本品を取り出す。



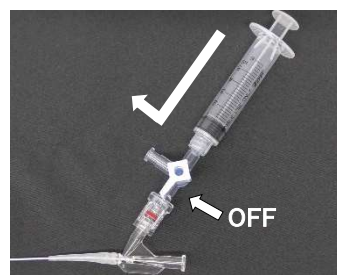
②ガイドワイヤーポートをヘパリン加生理食塩液でフラッシュした後、0.025inch 以下のガイドワイヤーを挿入する。



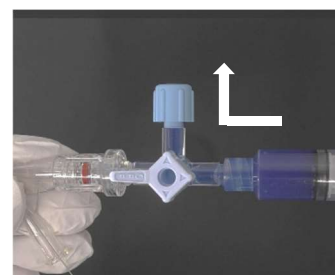
③三方活栓のキャップを外し、5mL シリンジと三方活栓をコネクタに取り付ける。



④シリンジ内筒を引き、陰圧をかけた状態を 5 秒間保持する。5 秒間保持した後内筒を引いたまま、三方活栓のコックをコネクタ側に倒す。



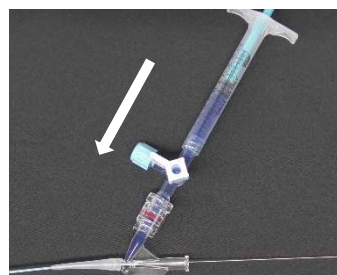
⑤内筒を放し、シリンジ内のエアを完全に抜く。再度コックを開け、④～⑤の動作を合計 3 回行う。  
※三方活栓のコック操作を誤った場合は、再度④から実施する。



⑥5mL シリンジに 2mL の拡張液をとり、三方活栓に取り付ける。三方活栓内を拡張液で満たし、キャップを取り付ける。



⑦三方活栓を開け、デッドスペースを拡張液で満たす。三方活栓を閉じ、バルーン拡張用に拡張液で満たした 1mL シリンジに付け替える。



⑧生理食塩液中にバルーン部分を浸漬させた状態で、0.3~0.4mL の拡張液をゆっくりと注入する。



⑨バルーンにリーク等の異常がないことを確認する。バルーンを収縮させ、三方活栓を閉じる。シリンジ容量をバルーン最大容量 (0.5mL) に調整する。

#### 注意 :

- ・バルーンを生理食塩液中に浸漬させた状態で拡張すること。(しっかりと濡れた状態で拡張しないと偏拡張しやすくなる)
- ・バルーン最大容量以上注入しないこと。(ガイディングカテーテルへの挿入・抜去が困難となるため)
- ・カテーテル全体を濡らした状態でガイディングカテーテルに挿入すること。
- ・目的血管径を確認し、血管径に合わせた注入容量を慎重に注入してバルーンを拡張させること。

製造販売業者 : 株式会社東海メディカルプロダクツ